

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11289

市民会館整備基金積立事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		市民会館費	
	大事業		市民会館事業	
	中事業		市民会館整備基金積立事業	

事業種別	継続		関連個別計画	伏虎中学校跡地活用基本構想、市民文化交流センター基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	宮脇 進 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市民会館整備基金条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山城ホールをより市民に身近なものに感じてもらうため、また建設を契機に更なる市民の文化に対する関心を高めるため、寄付金を募る。		市民会館整備基金を積み立て、和歌山城ホールの整備等に充てる。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	寄付金の募集を行う。	寄付金の募集を行う。	寄付金の募集を行う。			

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	17	5,036	19	21,570	18	26,768	0	0	0	0
伸び率(%)	41.7%	△71.1%	11.8%	328.3%	△5.3%	24.1%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,853	1,853	2,071	2,071	2,017	6,361	0	0	0
	正規職員以外	0	0	2,912	4,317	4,414	4,414	0	0	0
	小計	1,853	1,853	4,983	6,388	6,431	10,775	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	17	6,036	19	21,250	18	26,088	0	0	0	0
一般財源(税等)	0	△1,000	0	320	0	680	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.23	0.23	0.26	0.26	0.26	0.82	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.58	0.86	0.86	0.86	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	市民会館整備基金積立金 19千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
広報	件	目標値	1	1	1			
		実績値	1	1	1			
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%	
寄附金額	円	目標値	25000000	12000000	2000000			
		実績値	6030000	21243000	26076000			
		達成度(%)	24.1%	177%	1303.8%	%	%	
成果指標		目標値						
		実績値						
		達成度(%)						

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「にぎわいの文化交流拠点」を目指し開館する和歌山城ホールの整備が終了し、基金をその財源に充当した。
見直し・改善内容	令和3年度で事業が完了したため、事業を廃止する。